

授業改善推進中期プラン 国語〔小学校第4～6学年〕

昭島市立中神小学校

学年等	項目	内容
令和6年度 第4学年	令和6年10月 学習に関する児童の実態・課題	○調べたりまとめたりすることは、全体的に意欲的に取り組める。 ▲課題は、言葉の特徴や使い方に関する事項。考えてまとめたり、長文から問題点を明確にし適切に答えること。
	令和6年10月 教科で身に付けさせたい資質・能力	・数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え、検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度。
	令和6年10月 具体的な授業改善の方策	・キーワードを活用した要約の仕方の習得や振り返りを書くことの継続、分からない言葉が出てきたらすぐに調べる習慣化を図る。また、国語科で身に付けた力を、理科の表現の仕方や算数科の図や言葉での表現等で活用する。
	令和6年度末 第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	○国語科で身に付けた力を生かし、各教科の振り返りや総合的な学習の時間でのまとめに生かすことができた。 ▲基礎的な学力の定着を更に高めていくことで、自信をもって学習に取り組み、新たな学習内容に向き合っていくことができるようにする。
令和7年度 第5学年	平成7年10月 学習に関する児童の実態・課題	○自分の考えを文章等で表現することができる。 ・漢字の習得や言葉の意味理解に課題が残り、新しい課題解決の場面において既習事項が効果的に活用できていない。
	平成7年10月 教科で身に付けさせたい資質・能力	・基礎基本的な学習内容の定着及びそれらを効果的に活用する力。
	平成7年10月 具体的な授業改善の方策	・自己の考えをもって表現する時間及び振り返りの時間の充実を図り、日常的な表現場面において既習漢字や言葉を活用できるようにする。
	平成7年度末 第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	○今年度の反省をもとに、小中9年間で身に付けるべき力を見据えた実践を次年度以降、以下のように行う。 ・漢字、語句、用語の確実な理解とそれを習熟させるための実践。 ・中学校3年生でねらいとする「批判的な読み方」に備え、筆者の意図、事実と意見を確実に読み取り、それをもとに自分の考えを発表し交流する授業を推進する。
令和8年度 第6学年	令和8年10月 学習に関する児童の実態・課題	
	令和8年10月 教科で身に付けさせたい資質・能力	
	令和8年10月 具体的な授業改善の方策	
	令和8年度末 小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	